[■](http://d.hatena.ne.jp/rainbowring-abe/20051114" \l "1131906163)[チョムスキー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c1%a5%e7%a5%e0%a5%b9%a5%ad%a1%bc)『[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)・コントロール』 03:22CommentsAdd Star

今回は[1993年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1993%c7%af)に[チョムスキー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c1%a5%e7%a5%e0%a5%b9%a5%ad%a1%bc)が著した[『メディア・コントロール』](http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4087201902/qid=1131417534/sr=8-2/ref=sr_8_xs_ap_i2_xgl74/249-5422869-2398757)の紹介です。[政府](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c9%dc)が[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作によって[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)を騙し、本来の[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)に参加しているかのように思い込ませ、実際には[旧ソ連](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%ec%a5%bd%cf%a2)のような[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)的な統制を広げていることを指摘しています。

　以下は[益岡賢氏のホームページ](http://www.jca.apc.org/~kmasuoka/)よりの[引用](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%fa%cd%d1)です。

[メディア操作：世論操作のめざましい成功](http://www.jca.apc.org/%7Ekmasuoka/persons/chom91om.html)

○初期の[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作

　近代[政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3)において最初に[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作を行ったのは、1916年に「勝利なしの[平和](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%bf%cf%c2)」を綱領に掲げて[大統領](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c2%e7%c5%fd%ce%ce)に就任したウィルソン[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)である。当時[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)は極端な[平和主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%bf%cf%c2%bc%e7%b5%c1)者で、[ヨーロッパ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e8%a1%bc%a5%ed%a5%c3%a5%d1)戦線への参入など全く考えていなかった。そんな中で、[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)に加担することを決意したウィルソン[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)は、その[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)の態度をどうにかして変えなければならなかった。そこでクリール委員会と呼ばれる[政府](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c9%dc)の[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作委員会を設立して、[平和主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%bf%cf%c2%bc%e7%b5%c1)だった[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)を、6カ月後には[ドイツ人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4%bf%cd)をバラバラに引き裂き、参戦によって世界救済を願う病的なまでの[主戦論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%e7%c0%ef%cf%c0)者に変えたのである。ウィルソンを積極的に支持したのは進歩的な[知識人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c3%ce%bc%b1%bf%cd)達である。[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)を恐怖に脅えさせ、狂信的なまでの[主戦論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%e7%c0%ef%cf%c0)を導き出すことで[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)に駆り立てた。以来、国家政策の[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作は、知識層に支持されれば大きな効果を上げるという教訓を得たのである。

○[傍観者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cb%b5%b4%d1%bc%d4)としての[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)

　自由[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の[理論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%fd%cf%c0)家や[報道](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%f3%c6%bb)関係者は、初期の[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作の成功に大きな影響を受けた。その一人が、[米国人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1%bf%cd)[ジャーナリスト](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b8%a5%e3%a1%bc%a5%ca%a5%ea%a5%b9%a5%c8)の最高峰であり、[評論家](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c9%be%cf%c0%b2%c8)でもあったウォルター・リップマンである。[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作委員会にも加わったリップマンはこの成功を見て、「[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)のなせる技である[革命](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b3%d7%cc%bf)」を利用すれば「合意の[捏造](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%d9%d4%c2%a4)」が可能であると主張した。つまり[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作という手法によって大衆が望んでいないことを承諾させることができ、またそうすることが必要だと考えた。なぜなら大衆には公益が何であるかが分からず、それを理解し、管理できるのは少数[エリート](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a8%a5%ea%a1%bc%a5%c8)の「知的階級」だけであると言うのだ。

　リップマンはこの主張を進歩的な[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の[理論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%fd%cf%c0)でさらに裏付けた。正しく機能している[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)には階級ができる。そして物事を分析、実行し、意思決定を行い、[政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3)、[経済](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1)、[イデオロギー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%c7%a5%aa%a5%ed%a5%ae%a1%bc)の[システム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b7%a5%b9%a5%c6%a5%e0)を動かす少数の特殊階級が、残りの人々をどうすべきかについて話し合う。そして、残りの大多数、つまりリップマンの言う「[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)」の雑踏や怒号から自分達の世界を保護するのだ。[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)の役割は[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)社会における「[傍観者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cb%b5%b4%d1%bc%d4)」である。[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)を掲げるからには、[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)にも[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)によって[特権階級](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%c3%b8%a2%b3%ac%b5%e9)の一人を自分達のリーダーとして選ぶことが許されている。しかしそれが終われば、また単なる[傍観者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cb%b5%b4%d1%bc%d4)として引っ込むのである。これが正しく機能している[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)なのである。

　なぜこういった状況になるのかというと、一般大衆はあまりにも愚かで物事を理解できないためにやむを得ないというのだ。自分達のことを自分で管理しようものなら問題が起こるだけだから、それを認めるのは道義上正しくない。これは、３才児を一人で道路で遊ばせないのと同じことなのだ。

[1920年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1920%c7%af%c2%e5)から[30年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/30%c7%af%c2%e5)初期に、近代[コミュニケーション](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b3%a5%df%a5%e5%a5%cb%a5%b1%a1%bc%a5%b7%a5%e7%a5%f3)分野の草分けで[政治学](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3%b3%d8)者でもあったハロルド・ラスウェルは、大衆が公益の最良の審判員だとする[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の通説に屈してはならないと説いた。彼いわく事実はその逆で、自分達こそ公益を一番良く理解しているのであり、単純な道徳心から、一般人が間違った判断に基づいた行動を取ることがないようにしなければならないというのである。これが[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)や軍事国家であればことは簡単である。棍棒を振り上げて、少しでも言うことを聞かなければそれで殴りつければよい。しかし、社会がもっと自由で[民主](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7)的になるとそうはいかなくなる。そこで[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作という手法が必要になる。つまり[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)では[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作が、[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)における棍棒なのである。

○[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作

[1930年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1930%c7%af%c2%e5)になると大きな問題が発生した。[大恐慌](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c2%e7%b6%b2%b9%b2)の中、[労働者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%bc%d4)の組織化が広まり、[1935年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1935%c7%af)になるとワグナー法の制定により、[労働者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%bc%d4)が組織化し団結する権利を勝ち取ったのである。これによって２つの問題が生まれた。[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)が法的な勝利を勝ち取り始めたことによって、本来あるべき姿の[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)が機能しなくなったことと、大衆の団結が許されたことである。実際、人々が力を合わせて政界に入れば[傍観者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cb%b5%b4%d1%bc%d4)ではなくなってしまう。これは非常に恐ろしいことである。そのため、[経済界](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1%b3%a6)は[労働者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%bc%d4)にとってこれが最後の法的勝利になるよう、膨大な資金と労力を注ぎ込んだ。

[1937年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1937%c7%af)の[ペンシルバニア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%da%a5%f3%a5%b7%a5%eb%a5%d0%a5%cb%a5%a2)の鉄鋼[ストライキ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b9%a5%c8%a5%e9%a5%a4%a5%ad)の時である。[経営者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%b1%c4%bc%d4)側は武力ではなく、より効果的な[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作を戦略に使った。大衆に対して、スト参加者は社会の害であり、公共の利益に反した行動を取っていると印象付けたのである。公共の利益とは、調和や協力、親米主義といった抽象的なものである。その調和を乱し、問題を起こしている悪い連中にストを中止させようというのが、この[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作の大筋であった。こういった[スローガン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b9%a5%ed%a1%bc%a5%ac%a5%f3)は何も意味しないが、それが秘訣なのである。焦点はもちろんその政策を支持するか否かだが、それを大衆に考えて欲しくないために、反対も賛成もないような[スローガン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b9%a5%ed%a1%bc%a5%ac%a5%f3)を作る。重要なことは、人々の関心を核心から他へ逸らすことなのである。

　広告業界の役割は正しい[価値観](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b2%c1%c3%cd%b4%d1)を植え付けることであり、彼らの考える[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)社会とは、社会を支配する特殊階級と、組織化の手段を奪われた残りの[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)からなる社会なのである。一般大衆はテレビの前にじっと座り、人生で大切なのはたくさん物を買って、[テレビドラマ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%a5%c9%a5%e9%a5%de)にあるような裕福な中流階級のように暮らし、調和や親米主義といった[価値観](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b2%c1%c3%cd%b4%d1)を持つことだ、というメッセージを頭の中に叩き込まれていればよいのである。

[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)にとってはこの[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)が問題なのである。彼らが大声を発し、じたばたし始めないように彼らの関心をどこかよそへ逸らさなければならない。彼らはスーパーボールや[テレビドラマ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%a5%c9%a5%e9%a5%de)を見ていればよいのである。そして彼らを襲う悪魔の存在を信じさせておかなければならない。そうでないと考え始めるかもしれない。それは危険だ。なぜなら彼らは考えるべきではないからである。

　これも[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の１つの概念である。事実、[経済界](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1%b3%a6)に話を戻せば、[労働者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%bc%d4)にとっての法的な勝利は[1935年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1935%c7%af)のワグナー法限りとなってしまった。[第二次世界大戦](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c2%e8%c6%f3%bc%a1%c0%a4%b3%a6%c2%e7%c0%ef)後には、[労働組合](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%c1%c8%b9%e7)の数は減少し、それと共に[労働組合](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%ab%c6%af%c1%c8%b9%e7)と結び付いた非常に豊かな労働階級の文化も衰退し、崩壊した。これは[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)が恐ろしい速度で[経済界](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1%b3%a6)に牛耳られる社会へと移行したためである。通常は、国家[資本主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bb%f1%cb%dc%bc%e7%b5%c1)の工業社会であれば社会契約というものが存在するはずだが、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)にはそれがない。工業社会と呼ばれる社会の中で、国家[医療](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%e5%ce%c5)制度がないのも[南アフリカ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%ee%a5%a2%a5%d5%a5%ea%a5%ab)を除き[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)だけだと思う。このような国家方針の下では、個人ですべてを賄わなければならないが、それができない[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)に対して、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)では国家として最低限の保証さえしようとしてはいない。組合は事実上存在しないに等しく、それに代わる組織もない。少なくとも社会構造から見て、大衆の声を反映できる理想とはかけ離れていることは明らかである。[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)は企業に独占され、どこも同じような思想を共有しているし、[二大政党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%f3%c2%e7%c0%af%c5%de)といっても元をたどれば１つの[財界](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ba%e2%b3%a6)[政党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c5%de)から派生した２つの[派閥](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c7%c9%c8%b6)に過ぎない。[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)の大半は[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)で[投票](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%ea%c9%bc)すらしない。彼らは社会の主流から退けられ、うまく関心をそらされてしまっているのである。

○[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)工作

[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)と[特権階級](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%c3%b8%a2%b3%ac%b5%e9)の間では常に闘争が繰り広げられてきた。[1930年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1930%c7%af%c2%e5)の反乱は一度は鎮静化したが、1960年代には再び「[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の危機」に突入した。大衆が組織化し、活発な活動を行い、[政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3)への参加を目指し始めた。このような事態は、[辞書](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%ad%bd%f1)の定義によれば[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の進歩であるはずだが、一般には[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の危機とされた。このような危機的状態は[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)を左右する効果があるので、なんとかして大衆を無関心や服従という本来あるべき姿に戻さなければならない。そのために多大な努力が試みられた。

[1970年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1970%c7%af%c2%e5)になると[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)では「[ベトナム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0)[症候群](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%c9%b8%f5%b7%b2)」、つまり[軍事力](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%b3%bb%f6%ce%cf)の行使に対する病的な拒否反応があらわれた。一般人には、なぜ絶えず他人を殺したり、また絨毯爆撃する必要があるのか、その理由が理解できなかった。[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)がこのようなことに拒否反応を示せば海外派兵の妨げになり危険である。そこで、[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)の時に[ワシントン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ef%a5%b7%a5%f3%a5%c8%a5%f3)・ポストが行ったように、「[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)の意義」を認めさせることが重要になってくる。自国内の[エリート](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a8%a5%ea%a1%bc%a5%c8)の目的を達成するために、世界のどこであろうが武力の使用を認めさせなければならない。それには[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)の価値が正当に評価され、武力に対する拒否反応が全くない社会を築く必要がある。

○事実として提示

　病的な拒否反応を克服するには、歴史を完全に偽るのも一つの方法である。誰かを攻撃するのは、侵略者や怪物に対する[正当防衛](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%b5%c5%f6%cb%c9%b1%d2)であると思わせるのである。[ベトナム戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0%c0%ef%c1%e8)以来、多くの労力がそれに費やされてきた。[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)が激化し、兵士を含む多くの人々が実際には何が起こっているのか理解し始めた。体制側にとってこれは都合の悪いことであり、何を行おうともそれは立派で正しいとされるような状態を取り戻さなければならなかった。南[ベトナム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0)を爆撃するのは、南[ベトナム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0)人から（そこには南[ベトナム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0)人しかいないのだが）南[ベトナム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0)を守るためである。それを[ケネディ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b1%a5%cd%a5%c7%a5%a3)[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)の[知識人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c3%ce%bc%b1%bf%cd)は「内部侵略」に対する防衛であるとした。それは公式のものとされ、認識される必要があった。そして非常にうまくいったのである。[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)が完全に統制され、[教育](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b6%b5%b0%e9)制度や[学問](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b3%d8%cc%e4)が体制寄りであれば、それも可能なはずだ。

[マサチューセッツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b5%a5%c1%a5%e5%a1%bc%a5%bb%a5%c3%a5%c4)[大学](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c2%e7%b3%d8)で[湾岸](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df)危機に対する意識調査を行った際、[ベトナム戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0%c0%ef%c1%e8)の[犠牲者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%be%c0%b7%bc%d4)の数を推定させる設問があった。[米国人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1%bf%cd)の回答の平均は約10万人であったが、[犠牲者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%be%c0%b7%bc%d4)の公式数字は約200万人であり、おそらく実際の数は300万～ 400万人にはなるだろう。さらにこの調査では、「[ナチ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ca%a5%c1)の[ホロコースト](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%db%a5%ed%a5%b3%a1%bc%a5%b9%a5%c8)で[ユダヤ人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e6%a5%c0%a5%e4%bf%cd)が何人死んだかを質問し、たったの30万人という答えが返ってきたら[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)の[政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3)文化についてどう感じるだろう」という質問も適切に投げかけられていた。これらのことは[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の文化をよく現している。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)では、[武力行使](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c9%f0%ce%cf%b9%d4%bb%c8)に対する病的な拒否反応の克服が必要である。[ベトナム戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d9%a5%c8%a5%ca%a5%e0%c0%ef%c1%e8)についてはそれが非常にうまくいった。これは[中東](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c3%e6%c5%ec)、国際[テロ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ed)活動、中米問題等どれをとっても同じである。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)で一般に公開されている世界の現状は、事実とはかけ離れたものであり、事の真相は幾重にも重なった嘘の下に隠されている。しかし、[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)国家ではないために武力には頼らず、[自由主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%ab%cd%b3%bc%e7%b5%c1)の下でこのように[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)の脅威を阻止している。これはすばらしい成功だと言えよう。

○敵の行列

　国内の社会及び[経済](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1)問題が増加し続け、破滅的な状況になっているのに、[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)についているものは誰一人それを解決しようとしていない。[ブッシュ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5)[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)の初期２年間だけを見ても、300万人の子供が貧困レベルを越え、財政赤字は急増、[教育](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b6%b5%b0%e9)水準は低下、[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)の大半の実質賃金は1950年代後半のレベルに逆戻りというのに何の策も講じられなかった。このような状況では、[烏合の衆](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%a8%b9%e7%a4%ce%bd%b0)の関心を他へ逸らすことが特に重要になる。それにはスーパーボールや連続ドラマだけでは足りず、敵に対する恐怖心をかき立てなければならない。[1930年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1930%c7%af%c2%e5)、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)は[ユダヤ人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e6%a5%c0%a5%e4%bf%cd)と[ジプシー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b8%a5%d7%a5%b7%a1%bc)に対する恐怖心を煽ったが、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)には[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)流のやり方がある。過去10年間、常に怪物が[捏造](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%d9%d4%c2%a4)されてきた。[1980年代](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1980%c7%af%c2%e5)半ばまでは[ロシア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ed%a5%b7%a5%a2)という宿敵がいたため、寝ている間でも「[ロシア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ed%a5%b7%a5%a2)が攻めてくるぞ！」と繰り返してさえいればよかったが、[ブッシュ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5)以降それが通用しなくなった。そこで、国際[テロリスト](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ed%a5%ea%a5%b9%a5%c8)や[麻薬](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cb%e3%cc%f4)密売人そして[サダム・フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b5%a5%c0%a5%e0%a1%a6%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)等を敵に仕立て上げ、新たな[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)が世界を征服すると言っては[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)を脅したのである。そして、[グラナダ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b0%a5%e9%a5%ca%a5%c0)、[パナマ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d1%a5%ca%a5%de)、[キューバ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ad%a5%e5%a1%bc%a5%d0)、[ニカラグア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%cb%a5%ab%a5%e9%a5%b0%a5%a2)など、無防備な第三世界の[軍隊](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%b3%c2%e2)を相手に素晴らしい勝利を収め、我々はぎりぎりのところで助かった、と思わせたのである。

○[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)

[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)に関する[報道](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%f3%c6%bb)を追ってみると、[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)反対勢力の声が全く聞かれないことに気づく。彼らは亡命し、主に[ヨーロッパ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e8%a1%bc%a5%ed%a5%c3%a5%d1)を拠点に活動していた。[1990年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1990%c7%af)8月、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)がそれまで長い間親しくしてきた[サダム・フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b5%a5%c0%a5%e0%a1%a6%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)を突然敵に回してからは、この[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)反対勢力の存在が無視しにくくなったはずである。家族を殺されたり拷問にかけられ、国外追放されている[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)反対勢力は、[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)の専制[政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3)打倒のためにずっと戦ってきた。しかし[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の全国[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)は[1990年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1990%c7%af)8月から翌年3月まで、彼らについて一言も触れなかった。それは反対勢力が発言しなかったためではない。彼らの主張は[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の[平和](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%bf%cf%c2)運動と同じものであった。反対勢力は[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)を敵対視していたが、[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)との[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)には反対であった。自国を破壊したくはなかったからである。彼らが望んだのは[平和](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%bf%cf%c2)的解決であり、それが達成可能であることもわかっていた。しかし[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の体制側からするとこれは間違った意見であったため、反対勢力の意見は[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)から閉め出されてしまった。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)ほど統制の厳しくない[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)や[イギリス](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%ae%a5%ea%a5%b9)の新聞を見ればそれがわかるはずである。これは[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)民がいかに疑いを持たないように訓練されているかの現われではないだろうか。これこそ[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作のすばらしい功績と言えよう。

[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)を行った理由について考えてみよう。その理由は、侵略者に利益を与えてはならない、そして素早く暴力に訴えることによって侵略前の状態に戻さなければならないというものだ。このような理由は10代の若者にでも反駁できるはずだが、実際には全く覆されなかった。もしこの原則が適用されるのならば、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の[パナマ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d1%a5%ca%a5%de)進攻はどうなるのか。侵略を止めさせるために、[ワシントン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ef%a5%b7%a5%f3%a5%c8%a5%f3)への爆撃を奨励したか。さらに、[1969年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1969%c7%af)に、[南アフリカ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%ee%a5%a2%a5%d5%a5%ea%a5%ab)のナミビア占領は不法だと判定された時に、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)は食料や[医薬品](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%e5%cc%f4%c9%ca)の制裁措置をとったか。[南アフリカ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%ee%a5%a2%a5%d5%a5%ea%a5%ab)と開戦し、ケープタウンを爆撃したか。答えはすべてノーである。このように考えると、[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)を開始した理由は理由として全く成立しない。これこそ、正当な理由がなくても[戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%ef%c1%e8)に駆り出される、[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)の特徴なのである。

[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)への爆撃開始直前の[1991年](http://d.hatena.ne.jp/keyword/1991%c7%af)1月半ばに、Washington Postと [ABC](http://d.hatena.ne.jp/keyword/ABC)が行った[世論調査](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0%c4%b4%ba%ba)から興味深いことが判明した。もし、[国連](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cf%a2)[安全保障理事会](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%c2%c1%b4%ca%dd%be%e3%cd%fd%bb%f6%b2%f1)が[アラブ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a2%a5%e9%a5%d6)・[イスラエル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%b9%a5%e9%a5%a8%a5%eb)紛争の問題を検討することと引き換えに、[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)が[クウェート](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%af%a5%a6%a5%a7%a1%bc%a5%c8)からの撤退に同意するとしたら、それに賛成するかどうかを尋ねたものである。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)民の3分の2がこれを支持したが、[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)はこれを良い提案だとは報じなかった。なぜなら[ワシントン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ef%a5%b7%a5%f3%a5%c8%a5%f3)の命令で[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)民は２つの問題を関連付けることに反対の立場を取るべきだったからであり、その結果、誰もがその命令に従い、[外交](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b3%b0%b8%f2)策を使うことに反対したのである。事実、[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)がこれと全く同じ申し出をしていたことを1月2日に米[政府](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c9%dc)高官が発表している。しかし、[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)は[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)の[クウェート](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%af%a5%a6%a5%a7%a1%bc%a5%c8)侵攻以前から、この問題を交渉によって解決することを拒否していた。この申し出が実際にあったことや、それが広く支持されていたことを人々が知っていたら事態はどう変わったであろうか。この3分の2という[外交](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b3%b0%b8%f2)策支持者の数を、98%まで上昇させることも可能であったのではないだろうか。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)民が、このような考えを持っている者は他にいないと思っていたからこそ、武力による解決策が反対もされずに進められたのである。

　スカッド・[ミサイル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%df%a5%b5%a5%a4%a5%eb)が[イスラエル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%b9%a5%e9%a5%a8%a5%eb)を直撃した時に[メディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)は誰もそれを称賛しなかった。これも[世論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0)操作がうまく機能していることの証拠である。結局のところ、[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)の[イラク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%e9%a5%af)爆撃の理由は[ブッシュ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5)の言い分と全く同じではないか。[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)は、[国連](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cf%a2)[安全保障理事会](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%c2%c1%b4%ca%dd%be%e3%cd%fd%bb%f6%b2%f1)全員一致の合意に反した[イスラエル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%b9%a5%e9%a5%a8%a5%eb)の[レバノン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ec%a5%d0%a5%ce%a5%f3)、[シリア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b7%a5%ea%a5%a2)のゴラン[高原](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%e2%b8%b6)、東[エルサレム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a8%a5%eb%a5%b5%a5%ec%a5%e0)の併合を許せなかったのである。[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)は[アムネスティ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a2%a5%e0%a5%cd%a5%b9%a5%c6%a5%a3)・[インターナショナル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%f3%a5%bf%a1%bc%a5%ca%a5%b7%a5%e7%a5%ca%a5%eb)の報告を読み、[ヨルダン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e8%a5%eb%a5%c0%a5%f3)川西岸地区での[イスラエル](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%b9%a5%e9%a5%a8%a5%eb)の残虐行為に心を痛めていたのかもしれない。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)が[拒否権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%f1%c8%dd%b8%a2)を発動するため制裁措置は使えない。また交渉も[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の妨害に遭うとしたら、[武力行使](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c9%f0%ce%cf%b9%d4%bb%c8)に出るしかない。[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)はこの時を長い間待ちわびていたに違いない。[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)と[ブッシュ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5)の違いは、[フセイン](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%bb%a5%a4%a5%f3)の場合は[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の妨害のために制裁措置も交渉も使えないことがはっきりしていたことである。一方の[ブッシュ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5)にはどちらの手段も残されていた。しかし、[評論家](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c9%be%cf%c0%b2%c8)も論説委員も、誰一人としてこの点を指摘しなかった。繰り返すが、これも[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)の文化が非常にうまく機能していることの証拠である。うまく合意が[捏造](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%d9%d4%c2%a4)されていることを示している。

　問題にすべきは偽情報や[湾岸戦争](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cf%d1%b4%df%c0%ef%c1%e8)だけではなく、もっと広範囲に及ぶ。自由社会と、自ら課した[全体主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%c2%ce%bc%e7%b5%c1)のどちらを我々は望むのか。そしてどちらを選ぶかは、あなたや私という大衆の手にかかっている。

　さて、9月11日の[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)では、[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)のメデイアもコントロ－ルされていることを強く感じました。[政治評論家](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%bc%a3%c9%be%cf%c0%b2%c8)の[森田実](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bf%b9%c5%c4%bc%c2)氏は自身の[HP](http://d.hatena.ne.jp/keyword/HP)の中で下記のように述べています。

[森田実政治日誌［246］](http://www.pluto.dti.ne.jp/~mor97512/C02057.HTML)

『[郵政民営化](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%b9%c0%af%cc%b1%b1%c4%b2%bd)法案廃案に失望した[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)だが、再挑戦の構え。[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)の[マスコミ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%b3%a5%df)を裏から動かそうとしている 』

[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)は世界の[経済](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1)の支配者である。[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)は世界中の富を独占するために、各国の[経済](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%d0%ba%d1)を支配しようとしている。そのための基本戦略が「[グローバリズム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b0%a5%ed%a1%bc%a5%d0%a5%ea%a5%ba%a5%e0)」と「[民営化](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%b1%c4%b2%bd)」だ。[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)はこの[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)に踊らされている。

　この[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)で生活している知人より私の友人に電話があった。以下、友人から聞いた話の内容を紹介する。

《[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)は[郵政民営化](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%b9%c0%af%cc%b1%b1%c4%b2%bd)法案の廃案で一時は落胆した。しかし巻き返しを決意した。[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)は[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)が[総選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%ed%c1%aa%b5%f3)で勝てば逆転できると考えている。[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)を勝利させるため莫大な広告費を使って[日本国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc%b9%f1%cc%b1)すべてを洗脳する作戦である。武器はテレビだ。

[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)で読まれている新聞にも「[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)で巨大民間銀行が生まれる寸前までいったのにつぶされてしまった。惜しかった」という記事が出ている。ところが[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)は諦めない。[ブッシュ大統領](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d6%a5%c3%a5%b7%a5%e5%c2%e7%c5%fd%ce%ce)を通じて[小泉内閣](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c6%e2%b3%d5)に捲土重来、もう一度挑戦させようとしている。それが[衆院](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bd%b0%b1%a1)解散だ。[9.11](http://d.hatena.ne.jp/keyword/9%2e11)の[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)に勝てば[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)はどんなことでもできる[独裁](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%c8%ba%db)[政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%b8%a2)になる。いままで[自民党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%ab%cc%b1%c5%de)と[議会](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%c4%b2%f1)を無視してきたのは、[小泉](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4)[独裁](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%c8%ba%db)をつくるためだ。[総選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%ed%c1%aa%b5%f3)で勝てば、[自民党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%ab%cc%b1%c5%de)も[議会](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%c4%b2%f1)も押さえつけることができるようにするためだ。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)[政府](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c9%dc)はそこまで考えて[小泉政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c0%af%b8%a2)を[バックアップ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d0%a5%c3%a5%af%a5%a2%a5%c3%a5%d7)している。

[9.11](http://d.hatena.ne.jp/keyword/9%2e11)[総選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%ed%c1%aa%b5%f3)の勝利のカギを握るのは[マスコミ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%b3%a5%df)とくにテレビだ。[ＮＨＫ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a3%ce%a3%c8%a3%cb)は介入できないが民放は[小泉支持](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bb%d9%bb%fd)キャンペーンをやる。すでにやり始めている。　[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)[政府](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c9%dc)・[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)・[小泉政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c0%af%b8%a2)・[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)・民放各社と大[新聞社](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bf%b7%ca%b9%bc%d2)はすべて[小泉支持](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bb%d9%bb%fd)で固まった。巨大な広告費で[日本国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc%b9%f1%cc%b1)を[マインドコントロール](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%a4%a5%f3%a5%c9%a5%b3%a5%f3%a5%c8%a5%ed%a1%bc%a5%eb)してしまえば、[総選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%ed%c1%aa%b5%f3)で[小泉](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4)は大勝する。[小泉](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4)が大勝すれば、再度[郵政民営化](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%b9%c0%af%cc%b1%b1%c4%b2%bd)法案を提出して成立させ、[郵貯](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%b9%c3%f9)・[簡保](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b4%ca%ca%dd)350兆円のフタを開けることが可能になると考えている。とにかく[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)の[マスコミ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%b3%a5%df)を動かして[日本国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc%b9%f1%cc%b1)を[マインドコントロール](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%a4%a5%f3%a5%c9%a5%b3%a5%f3%a5%c8%a5%ed%a1%bc%a5%eb)して[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)を勝たせようという方向へ動いている。》

　某[政党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c5%de)関係者である私の知人は、今回の[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)で、[ウォール街](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a1%bc%a5%eb%b3%b9)から[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)へ3兆円が流れたと話していました。[米国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%c6%b9%f1)の広告会社「Bcom3」、[欧州](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b2%a4%bd%a3)を代表する[フランス](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%e9%a5%f3%a5%b9)の広告会社「ピュブリシス」と[合併](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%e7%ca%bb)して、ピュブリシス・グループというグローバル・[ネットワーク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%cd%a5%c3%a5%c8%a5%ef%a1%bc%a5%af)を形成する[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)最大手の広告会社「[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)」は、[日本国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc%b9%f1)内で約60％～70％という高い[市場占有率](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bb%d4%be%ec%c0%ea%cd%ad%ce%a8)を誇っていて、[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)のみならず政策全般に関する[シンクタンク](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b7%a5%f3%a5%af%a5%bf%a5%f3%a5%af)的な仕事も請け負っています。

[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)の強みは、番組スポンサーとなる企業広告を仲介する立場にあることで、テレビ・新聞など[マスメディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)に対し優位な立場にあるといえます。特にテレビは、[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)が100%出資する[視聴率調査](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bb%eb%c4%b0%ce%a8%c4%b4%ba%ba)会社、[ビデオリサーチ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d3%a5%c7%a5%aa%a5%ea%a5%b5%a1%bc%a5%c1)が市場を独占しているため、スポンサー群をバックに絶対的に優位な立場にあり、ほとんどの[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)は[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)の影響力を間逃れません。また、販売部数減から広告収入に頼らざるを得なくなっている[新聞社](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bf%b7%ca%b9%bc%d2)も、[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)から強い影響力を受けざるをえないでしょう。このようにみてみると、[マスメディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)を総動員した「[劇場型政治](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b7%e0%be%ec%b7%bf%c0%af%bc%a3)」と呼ばれた今回の[選挙](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3)が、[電通](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%c5%c4%cc)の演出で極めて効果的におこなわれた可能性があります。

　その結果、どのようなことがおこなわれたか。再び、[森田実](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bf%b9%c5%c4%bc%c2)氏の[HP](http://d.hatena.ne.jp/keyword/HP)から[引用](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%fa%cd%d1)です。

[森田実政治日誌［313］](http://www.pluto.dti.ne.jp/~mor97512/C02127.HTML)

『テレビ・[ファシズム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%a1%a5%b7%a5%ba%a5%e0)の危機性高まる。[投票](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%ea%c9%bc)日の９月11日に向けてテレビと新聞による「[小泉](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4)賛美・[野党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%ee%c5%de)攻撃」の[偏向報道](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%d0%b8%fe%ca%f3%c6%bb)の強化が「再び指示された」と、内部からの訴え』

　テレビ界[ウォッチャー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a6%a5%a9%a5%c3%a5%c1%a5%e3%a1%bc)のQ君から電話がかかってきた。

　「９月11日の[投票](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c5%ea%c9%bc)日に向けて、[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)の[上層部](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%e5%c1%d8%c9%f4)から、現場に対して“[民主党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%c5%de)攻撃を強化せよ！　徹底的にやれ！　視聴者の[偏向報道](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%ca%d0%b8%fe%ca%f3%c6%bb)批判など問題ではない！　[小泉政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c0%af%b8%a2)を守れ！　何がなんでも勝利させろ！　放送法違反などという批判は気にするな！”との強い指示があったと、[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)内部の友人から知らせがきました。[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)[上層部](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%e5%c1%d8%c9%f4)は“[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)を勝たせるためにはどんなことをしてもかまわない。[誤報](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b8%ed%ca%f3)もおそれるな”という姿勢だそうです。おそろしいことになってきました。[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)は狂気です。[ファシズム](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d5%a5%a1%a5%b7%a5%ba%a5%e0)です。このことを[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)に知らせてくれませんか。

[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)は異常です。これをとめるには、視聴者が、[テレビ局](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c6%a5%ec%a5%d3%b6%c9)へ電話等で抗議するしか方法がないと思います。各[野党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%ee%c5%de)からも抗議する必要があります。[候補者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b8%f5%ca%e4%bc%d4)はみな[マスコミ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%b3%a5%df)をおそれ、遠慮しています。

　新聞は、記事と[世論調査](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%a4%cf%c0%c4%b4%ba%ba)と投書欄で情報操作しています。

[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)は危機です。テレビと大新聞が、[小泉政権](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c0%af%b8%a2)・[自民党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bc%ab%cc%b1%c5%de)・[公明党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b8%f8%cc%c0%c5%de)の宣伝隊になってしまいました。[日本人](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc%bf%cd)の心が権力者とその手先の[マスコミ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%b3%a5%df)によって弄ばれています。」

　郵政改革PRのために、国と特別契約を結んだ[竹中平蔵](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c3%dd%c3%e6%ca%bf%c2%a2)[郵政民営化](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%b9%c0%af%cc%b1%b1%c4%b2%bd)担当[大臣](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c2%e7%bf%c3)の知人が経営する広告会社が提出した企画書の中に「郵政改革PRは、主婦層や子供、シルバー層といった具体的なことはわからないが、[小泉総理](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%c1%ed%cd%fd)のキャラクターだけを支持している、ちょっと[IQ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/IQ)の低い人々の層（これを[B層](http://d.hatena.ne.jp/keyword/B%c1%d8)としています）をターゲットに進める」という一文があり、「[国民](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b9%f1%cc%b1)をバカにしている」と物議を醸し出しました。

（流出している内部文書のコピーは[こちら](http://tetsu-chan.com/05-0622yuusei_rijikai2.pdf)）

　マーケッティングとしてターゲットを絞って効果的なアプローチをすることは当然のことでしょうし、（残念なことではありますが）広告会社の戦略が見事に功を奏した[選挙結果](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%aa%b5%f3%b7%eb%b2%cc)であったといえます。

　なぜ、[B層](http://d.hatena.ne.jp/keyword/B%c1%d8)の人たちは[小泉首相](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%be%ae%c0%f4%bc%f3%c1%ea)を支持するのでしょう？そのヒントが、どのようにして[民主主義](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cc%b1%bc%e7%bc%e7%b5%c1)社会の人々が[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)を圧倒的に支持するようになったかを描いたマックス・ピカートの著書[『われわれ自身のなかのヒトラー』](http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4622004038/249-5422869-2398757)（みすす書房）で考察されていますので抜粋・[引用](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b0%fa%cd%d1)してご紹介します。

　1932年、[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)を旅行していたときのことであるが、ある日、[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)の大[政党](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c0%af%c5%de)の党首がわたしを訪ねてきて、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)がこんなに有名になり、こんなに信奉者を獲得できたのは、いったいどうしてだろうとたずねたことがある。わたしは、たまたま机の上においてあった絵入新聞を指さして、どうぞ、それを見てください、と答えた。

　その一面には、ほとんど[全裸](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%b4%cd%e7)の踊子の[挿絵](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%de%b3%a8)がのっている。二面では、一個連隊の兵士が[機関銃](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b5%a1%b4%d8%bd%c6)操作の訓練をうけており（中略） 四面には、Ｙ工場の休憩時間に、工員たちが体操している写真がある。その下には、[南米](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%ee%ca%c6)[インディオ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a4%a5%f3%a5%c7%a5%a3%a5%aa)一種族の、結[縄文](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%ec%ca%b8)字が印刷されている。そして、そのすぐ横には、避暑地での[衆議院議員](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bd%b0%b5%c4%b1%a1%b5%c4%b0%f7)Ａ氏が立っている……。

　「現代人が外界の事物をうけ取るやり方はこうなのです」とわたしは言った。現代人はあらゆるものを、なんの関連もない錯乱状態のままで、手当たりしだい掻きあつめてくるのですが、それは現代人の心の中にも、支離滅裂な、ある種の錯乱状態が発生している証拠にほかなりません。

　そこに、外界の錯乱状態が動いてくる、というのが実情です。したがって、なにがわが身に降りかかりつつあるかは、いっこうに吟味されない。人々は、とにかく何事かが起こり、来たりつつあるという、そのことだけで満足なのです。

　そして、このような連関のない錯乱状態のなかへは、どんなことでも、また、どんな人物でも、容易にまぎれ込むことができるのは言うまでもありません。どうしてアドルフ・[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)だけがまぎれ込まないことがありましょう。

　さて、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)がそこへ紛れ込めば、どのようにして彼が入り込んだかには気づかれることがなくても、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)は事実上人間の内部におるわけで、そうなれば[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)がただ単に人間の心のなかをちょっと通り過ぎるだけで終わるか、あるいは彼が人間の心のなかにしっかり食い込んで離れないかは、彼アドルフ・[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)の手腕しだいであって、もうわれわれ自身でどうこうすることのできる問題ではなくなるのです。

[ラジオ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e9%a5%b8%a5%aa)はこの連関性[喪失](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%d3%bc%ba)の状態を機械的に運営することを引き受けたのである。六時＝朝の[ラジオ体操](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e9%a5%b8%a5%aa%c2%ce%c1%e0)～六時十分＝[レコード](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ec%a5%b3%a1%bc%a5%c9)・[コンサート](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b3%a5%f3%a5%b5%a1%bc%a5%c8)～七時＝ニュース～～～九時＝朝の精神訓話～～～十時四十五分＝世界の出来事～十一時＝リエンツイ序曲～～～夜二十二時三十分[ジャズ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%b8%a5%e3%a5%ba)愛好家の時間～～これで本日の放送は全部終了いたしました、ということになる。

しかし、過去の連続性の世界においては、人々はまだ、そのように取るに足りないもの、下らぬものの背後に、偉大なるもの、重大な意義あるものの存在を感じていた。

　ところが、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)の時代や、それに先立つ時代においては、およそ空無よりほかには何ものも存在していないかのような有様であった。しかも、その空無は第一次的に存在していたのであって、人々はその空無の場を、偉大なもの、重大な意義あるものがそこから追い出されることによって生じた真空だと感づくことさえ、もはやできなくなっていたのである。

　世界は解体したのだ。もろもろの対象は、なんの連関もなくバラバラに、これまた何らの連関性をもたない人間のかたわらを、素通りしていくにすぎない。なにが素通りして行くかはどうでもよい。肝心なのはただ、とにかく何物かが素通りして行くという単なる事実だけである。

　従って、このような連関性のない事物の羅列のなかへは、どんなものだってまぎれ込むことができるのであって、アドルフ・[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)がまぎれ込んだからといって、別に不思議ではない。事実また、もはや何ものも出現しなくなってしまうよりは、少なくともまだアドルフ・[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)が出現するということの方が、人々にとっては、ありがたいのである。

　だから、[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)はこのような外部世界の錯乱状態のなかにあって、容易に人間内部の錯乱状態のなかに忍び込むことができる。また、このような支離滅裂な、連関性[喪失](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c1%d3%bc%ba)の状態のなかで、気まま勝手にどのようなところにも顔を出すことができたのである。また、彼はどんなものにでも順応した。それもそのはず、彼はなんらの連関性ももたないその本性上、あらゆる連関なきものに対する順応性をそなえていたのである。

　そして、この錯乱状態のなかで、どんな時、どんな所にも、くり返しくり返し、顔を出すことによって、彼はひときわ目立った存在になったのだ。やがて、人々は彼になれて、彼を受容するようになった。それは新聞紙上にぶちまけられた雑多な広告のなかで、くり返し出てくる練歯磨を、人々が買うにいたるのと同様である。こうして[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)は、その他のあらゆるものが現れたかと思うとすぐ消えてゆくに過ぎない、この世界のなかで、当然ながら唯一真実なるもののように見えてきたのである。

　そのようなことが可能なのは、[現代社会](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b8%bd%c2%e5%bc%d2%b2%f1)ではだれもが無目的につるつる滑ってゆくからなのだ。

　当時の[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)は近代化され、新聞・出版・[映画](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%b1%c7%b2%e8)・[ラジオ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%e9%a5%b8%a5%aa)などの[マスメディア](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%de%a5%b9%a5%e1%a5%c7%a5%a3%a5%a2)が高度に発達した。また、[アメリカ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%a2%a5%e1%a5%ea%a5%ab)型の文化を招きいれて大量消費文明を享受した時代でもありました。そのような社会状況の変化から、支離滅裂な「新しいタイプの[人種](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%bf%cd%bc%ef)」が現われ、彼らが人口の多くを占めるようになり、[独裁者](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%c8%ba%db%bc%d4)の言葉を受け入れる素地が作られてきたというのです。

[ワイマール共和国](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%ef%a5%a4%a5%de%a1%bc%a5%eb%b6%a6%cf%c2%b9%f1)時代の[ドイツ](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%c9%a5%a4%a5%c4)の社会状況が、あまりにも現代[日本](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%c6%fc%cb%dc)に似ていることに驚かされます。

　そういえば[ヒトラー](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%a5%d2%a5%c8%a5%e9%a1%bc)も『わが闘争』の中で次のように述べていました。

「大衆的なものの大部分は、きわめて女性的な性質と見解を有している。彼らの思想と行動は理性的な考察によるよりも、はるかに感情と情緒によって支配されるのが常である。従って女性の感受性は、厳然たる支配者を好み、なかなか理解しがたい[理論](http://d.hatena.ne.jp/keyword/%cd%fd%cf%c0)よりも、簡単にして力強い教義に満足する。一人としてその意味がわからない者がなくなるまで、繰り返し繰り返し宣伝はしなければいけない」と。